

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

## ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

<時計は常に充電を心掛けてお使いください>  
・日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。  
・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

**注意** 充電上の注意  
・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので、高温(約60℃以上)での充電は避けてください。  
例) 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

・白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

**警告** 二次電池の取り扱いについて  
・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。  
・やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。

・万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。

**警告** 指定の電池以外は使わないでください  
この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。  
他の種類の電池を組み込んだりも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。  
二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用ください。

**二次電池の交換について** この時計に使われている二次電池は、充電、放電を繰り返して行えるため、一般の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

## 商品の特徴

この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラーパワーダイバースウォッチです。

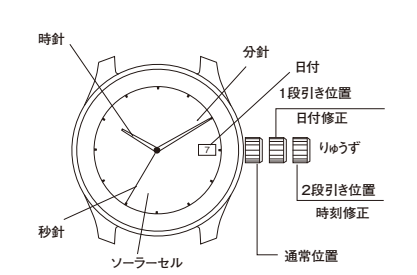
## ご使用になる前に

**十分に光を当てて充電してからご使用ください。**

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。  
この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないグリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると約6ヶ月間は充電しなくても時計は動き続けます。

<ソーラーパワーウォッチの上手な使い方>  
快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。  
この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)  
毎日の充電を心掛けてご使用されることをおすすめいたします。

## 取扱方法(3針モデルの場合)

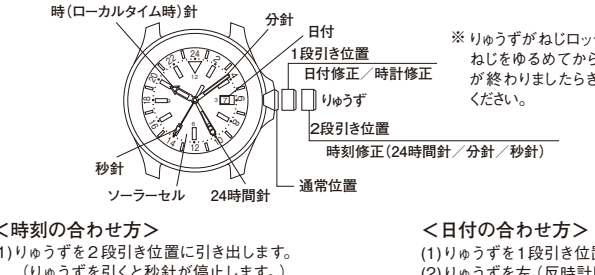


**<時刻の合わせ方>**  
(1) りゅうずを2段引き位置に引き出します。(りゅうずを引くと秒針が停止します。)  
(2) りゅうずを右に回して時刻を合わせます。日付が切り替わるのが午前0時ですので、午前と午後を注意してください。  
(3) 時報等に合わせたりゅうずを通常位置に戻します。(りゅうずを押し込むと秒針が動き始めます。)

※りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、ねじをゆるめてから操作を行い、操作が終わりましたらきちんとねじを締めてください。

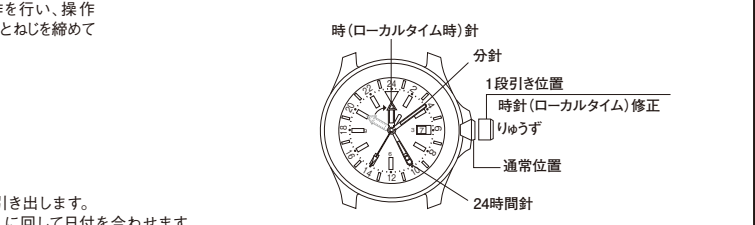
**<日付の合わせ方>**  
(1) りゅうずを1段引き位置に引き出します。(りゅうずを引くと秒針が停止します。)  
(2) りゅうずを左(反時計回り)に回して日付を合わせます。  
(3) りゅうずを右に回すと空回りします。  
(4) りゅうずをきちんと通常位置に戻します。  
※日付は午前0時頃に切り替わります。  
※時刻が午後9時～午前1時頃の間にあるときは、日付の修正をしないでください。翌日になっても日付が正しく切り替わらないことがあります。  
※日付は31日限りです。小の月(月末が30日と2月 末)から翌月の1日へは、りゅうず操作での切り替えが必要で

## 取扱方法(24時間針付き、4針モデルの場合)



**<時刻の合わせ方>**  
(1) りゅうずを2段引き位置に引き出します。(りゅうずを引くと秒針が停止します。)  
(2) りゅうずを右に回して24時間針と分針を現在時刻に合わせます。このとき、24時間針に合わせて時針も運動します。  
(3) 時報等に合わせたりゅうずを通常位置に戻します。(りゅうずを押し込むと秒針が動き始めます。)  
(4) りゅうずを1段引き位置に引き出します。  
(5) りゅうずを右(時計回り)に回して時針を現在時刻に合わせます。日付が切り替わるのが午前0時頃ですので、午前と午後を注意してください。  
(6) りゅうずをきちんと通常位置に戻します。

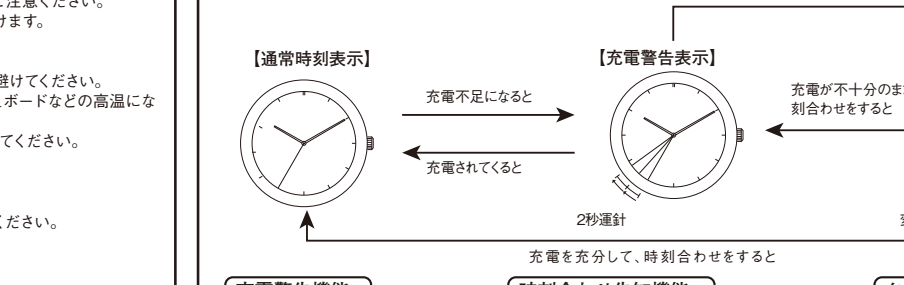
<ディアルタイムウォッチとしての使い方>  
この時計は、時計を止めずに時計だけを単独に修正することができます。24時間針と時針の時刻を異なる時刻に合わせることで、ディアルタイムウォッチとして使用することができます。時計修正後は、時計を「ローカルタイム時」として読み取ります。



**ローカルタイム時の修正方法**  
(1) りゅうずを1段引き位置に引き出します。  
(2) りゅうずを右(時計回り)に回して時針を合わせたい時刻に合わせます。時針は時計回りに+1時間ずつ修正できます。午前、午後に注意して時針を合わせてください。  
(3) りゅうずを右(時計回り)に回して時針を合わせたい時刻に合わせます。時針は時計回りに+1時間ずつ修正できます。午前、午後に注意して時針を合わせてください。  
(4) りゅうずを右(時計回り)に回して時針を現在時刻に合わせます。日付が切り替わるのが午前0時頃ですので、午前と午後を注意してください。  
※日付は31日限りです。小の月(月末が30日と2月 末)から翌月の1日へは、りゅうず操作での切り替えが必要で

## ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。



**充電警告機能** 秒針が2秒運針して充電不足を知らせてくれます。  
**時刻合わせ告知機能** クイックスタート機能が働くと、時計の針は動き出しますが、秒針が変則2秒運針して正しい時刻が表示されていないことを知らせてくれます。このような場合は、十分に充電して時刻を合わせ直してください。  
**クイックスタート機能** 充電が全くなされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。(モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。)  
**過充電防止機能** 二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きますので安心して充電ができます。

## 200m防水時計(スキューバ潜水用)について

1. 特長  
① 逆転防止機能付回転ベゼル  
潜水時間のチェックに重要な回転ベゼルは逆転防止機能付となっております。  
② W-Oリング付ねじロックのりゅうず  
りゅうずはねじロック式で3本の防水パッキングを用いたダブルリング方式を採用し機密性防水性を強化しております。

**警告** 防水性能について  
● この時計はスキューバ潜水用防水時計(200m防水時計)です。空気ポンペを使用したスキューバ潜水には使用できませんが、ヘリウムガスを使用する飽和潜水などでは絶対に使用しないでください。

表示	裏ぶた	仕様	水がかか程度の使用。(洗顔・雨等)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンドайビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンペを使用するスキューバ潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。
AIR DIVER'S 200m	WATER RESIST (ANT)	200m 防水	○	○	○	○	×

**注意** ダイビングへの使用にあたって  
● ダイバースウォッチのご使用にあたっては、必ず各種のダイビングに関する教育やトレーニングを受け、それにしたがってルールを守ってご使用ください。  
● 時計の取り扱い扱いと注意事項を充分に理解して、正しくご使用ください。万一この取扱説明書にない取り扱いをした場合は、時計が正しく機能しない場合がありますのでご注意ください。

**禁止** ダイビングでの使用禁止事項  
次のようなときは、ダイビングにこの時計を使用しないでください  
● 充電警告機能が作動しているとき。  
● 充電不足になると秒針が2秒間隔で動きます。(光に当てて充電し1秒運針に戻してください)  
● 時計が止まったり異常が生じたとき。

**注意** ダイビングにおける注意  
【ダイビングの前には】  
● りゅうずがきちんと押し込まれ、りゅうずがしっかりねじロックされているか確認してください。  
● バンドが時計本体にしっかり固定されているか確認してください。  
● バンドやガラスにヒビ、傷、カケなどの異常がないか確認してください。  
● 回転ベゼルの正常に回転するか確認してください。  
● 時刻が正しくセットされているか確認してください。  
● 秒針が正しく動いているか確認してください。

**注意** この時計の修理について  
● この時計のすべての修理は「シチカンサービスセンター修理」となります。修理・点検の際は、お買い上げ店を通して、又は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

## お取り扱いにあたって

**注意** 時計は常に清潔に  
・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなる場合があります。時々、りゅうずを通常位置のまま空回りさせてください。またゴミ、汚れを落としてください。  
・ケースやバンドは肌膚類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気がついた汚れて衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。  
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

**注意** 携帯時の注意  
・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。  
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。  
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。  
・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。

**注意** 携帯時の注意  
・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。  
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。  
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。  
・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。

**注意** バンドのお取り扱いについて (着脱時の注意)  
・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

**文字板や針が光っている場合**  
時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。蓄えた光を放出していくと、少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、照射時間、蓄光塗料の量などによって発光する時間に誤差が生じます。光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまいう場合があります。ご注意ください。

**温度について**  
・-10℃～+60℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。  
・常温(+5℃～+35℃)から外れた温度下で長時間放置すると、電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。

**磁気について**  
・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。

## 保証とアフターサービスについて

1. 保証について  
正常にご使用で、保証期間内に万が一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。  
2. 修理用部品の保有期間について  
当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンド等の外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。  
3. 修理可能期間について  
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境がこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店にご相談ください。なお、長時間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。  
4. 自転車・贈答品の場合  
保証期間中に自転車・贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスが受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。  
5. 定期点検(有償)について  
安全に長くご使用いただくために1～2年に一度の点検(有償)を行ってください。

防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやパナネ棒などの交換を行ってください。  
部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部分の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店、または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。  
6. その他のお問い合わせについて  
保証や修理、その他不明の点がございましたら、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

## 付加機能の取り扱いについて

<無減圧表について (バンドに無減圧表示のある場合)>  
・バンドに表示されている無減圧表(N.O-DECOMPRESSION LIMIT)とは、潜水時間がこの制限時間以内であれば水中で減圧を行わずとも上昇できる潜水時間の制限を定めたものです。(米国防務省基準による)

注1) この制限時間を超えた時は、水中での減圧を行わなければならないかもしれません。この場合は標準減圧表(STANDARD AIR DECOMPRESSION TABLE)を参照してください。

注2) 再潜水時(12時間以内に再び行う潜水)にはこの表は適用されません。(STANDARD AIR DECOMPRESSION TABLE 参照)

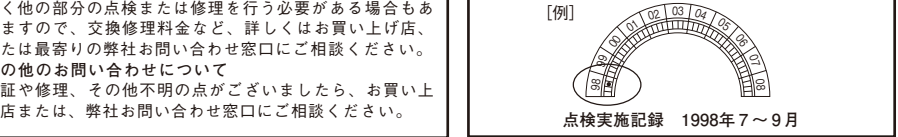
DEPTH/TIME	N.O LIMITS
12:00 30 25	15:00 25 20
18:00 35 15	21:00 40 10
24:00 45 10	30:00 50 05
30:00 55 05	36:00 60 00

残り時間の測定  
回転ベゼルの▼印を目標時刻に合わせておくことで残り時間がわかります。

【例】水深21mの深さで50分以内であれば減圧をしないで浮上してもよいというようにお読みください。

## 修理・点検記録

時計の裏ぶたに修理点検の記録が刻印されている場合、この刻印を目安に早めの点検をおすすめします。



点検実施記録 1998年7～9月